

事務事業名	観光拠点施設等整備事業				担当	産業環境部 商工観光課 観光係	
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	83-8135	
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）	
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費	3.観光費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（平成23年度～平成26年度）		
事業概要	平成23年8月に荒町本通りに面する久保邸の所有者を含む関係者からの、建物の保存を前提に譲渡したい旨の申し出を受け、明治期の貴重な歴史的建造物が現存していることから、次代に引き継ぐ資産として保存し、有効活用することとした。久保邸を新たな「観光まちづくりの拠点」と位置づけ、真岡観光の発信・誘客につながる施設としての整備を行う。 施設概要：元日本銀行宇都宮代理店真岡出張所真岡支金庫、アトリエ跡石積土蔵、現居宅、中央なまこ壁土蔵、南なまこ壁土蔵、暖炉 整備スケジュール：平成23年度 基本構想 平成24年度 基本設計、実施設計、土地の取得 平成25年度 基本設計、実施設計、改修工事、運営計画の策定 平成26年度 改修工事、外構工事、公の施設設置条例、指定管理者の指定						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 26年度実績 実施設計業務委託（繰越） 境界確定、整備工事着手、食事処運営者の募集、選定 整備工事、設置条例、指定管理者選定、食事処運営者との契約  27年度計画		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(見込) ア 委託料 1,239 7,986 7,509 13,105 イ 会議を開催した数 6 26 69 75 ウ 施設整備に要した費用 52,927 64,945 230,997 エ オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 久保邸		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(見込) ア 久保邸の敷地面積 1,591.03 1,591.03 1,591.03 1,591.03 イ 久保邸の建物の数 5 5 5 5 ウ エ オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 久保邸を取得し、観光まちづくりの拠点施設として整備し、観光の振興を図る。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(見込) ア 観光に資する施設数 5 5 5 5 イ 観光に資する利活用計画数 5 5 5 5 ウ エ オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 真岡観光の発信力、誘客力を強化し、地域活性化を図る		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(見込) ア 真岡市を訪れた観光客数 2,230,492 2,463,570 2,842,333 2,865,281 イ ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,239	53,184	64,945	230,997	0	
	事業費計(A)	千円	1,239	53,184	64,945	230,997	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	100	450	1,000	2,000	0
		人件費計(B)	千円	424	1,891	4,064	8,442	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,663	55,075	69,009	239,439	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成23年8月に久保邸の所有者を含む関係者から、建物の保存を前提に譲渡したい旨の申し出があったため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成23年度に開始した事業である。 平成26年度に整備事業が終了した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	議会の建議要望や一般質問で、物産会館としての利用の要望がある。 商工会議所や観光協会などから、観光に資する具体的な利活用案が提案された。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 観光のまちづくりに資する施設であり、市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 観光のまちづくりの拠点施設であり、市が行う事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 観光まちづくりの拠点施設の整備であり、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 成果をあげるべく事業を進めているところであり、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 整備事業完了のため
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？  ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似する施設、事業はない。  <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 決められた予算で適切に発注したもので、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 久保邸の取得及び施設整備の構想策定に係る人件費であり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 観光まちづくりの拠点施設の整備であり、特定の受益者に対する事業ではない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 整備事業完了	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							